

調査相談(レファレンス)事例紹介 21



Question

川合玉堂の代表作の一つとされる「二日月」の写生地が群馬県内であると聞きました。どこですか？



Answer

川合玉堂（1873-1957）は、愛知県出身の日本画家で、望月玉泉・幸野楳嶺や橋本雅邦に師事しました。日本の自然を愛し、自然とそこに生きる人々を詩情豊かに描き続け、1940（昭和 15）年には文化勲章を受章。近代日本画壇を代表する画家のひとりです。また、玉堂は作品制作や研究のかたわら後進の指導にも力を入れ、長流画塾という私塾を約 30 年経営しました。門下生の中には、群馬県内の画壇にも大きな影響を与えた日本画家・磯部草丘（1897-1967）もいます。

「二日月」は、1907（明治 40）年の東京勸業博覧会で一等賞を受賞した作品で、玉堂の出世作です。同年の文部省第 1 回美術展覧会に出品した「片時雨」とともに、玉堂初期の名作とされています。この作品の写生地は、なんと群馬県安中市松井田の九十九村。増田川の浅瀬で、農作業を終えた若い夫が労をねぎらうように妻を馬に乗せ家路へ急ぐ風景だそう。玉堂はこの風景を松井田の宿屋でその日のうちに書きあげたとのことですが、どの宿屋で描いたのかはわかっていません。参考文献②の著者・小林氏は手紙で玉堂本人に、「二日月」は松井田宿のどこの宿屋で描いたのか尋ねていますが、「…屋号等は全く記憶にない」との返事が返ってきたそうです。

参考文献⑥に、「二日月」と写生地の写真が並べて掲載されています。写生されてから 100 年以上経っていますが、玉堂が見た景色の面影が感じられますよ。



参考文献

	書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
①	九十九史考	小板橋 良平／編	九十九村教育委員会	1954	00427559
②	松井田八幡宮祭禮記	小林 二三雄／著	みやま文庫	2015	12009593
③	角川日本地名大辞典 10 「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編	角川書店	1988	12187464	
④	群馬の近代美術	中村節也／[ほか]執筆	みやま文庫	1981	01166552
⑤	川合玉堂の世界	川合玉堂／[画]	美術年鑑社	1998	07275001
⑥	松井田町誌 松井田町誌編さん委員会／編	松井田町誌編さん委員会	1985	00427625	
⑦	川合玉堂生誕百年展 朝日新聞東京本社企画部／編	朝日新聞東京本社	1973	09199290	

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町 1 丁目 9-1 電話：027-231-3008